

令和 7 年 7 月 14 日

渋川市議会議長 安カ川 信之 様

渋川市議会 会派「創生渋川」及び副議長 行政視察報告書

創生渋川 代表 茂木 弘伸

副議長 板倉 正和

1、視察日程 令和 7 年 7 月 9 日 (水) ~ 10 日 (木)

2、視察場所 (1) 大阪市役所

大阪府大阪市大阪市北区中之島 1 丁目 3 番 20 号

(2) 株式会社ダイヘン本社 (十三事業所)

大阪市淀川区田川 2 丁目 1 番 11 号

3、視察議員 創生渋川 茂木 弘伸・反町 英孝・後藤 弘一
副議長 板倉 正和

4、視察報告

(1) 大阪市役所行政視察 (令和 7 年 7 月 10 日)

大阪市議会議会事務局中村忠雄課長・左海義和課長代理からの歓迎ご挨拶を頂き、その後議会改革をテーマに下記の項目について、担当者から各々説明を頂いた。

①議会基本条例について

・条例制定の経過説明

令和 5 年 6 月「議会改革ワーキンググループ」という検討会設置し、7 回の会議を経て基本条例の案文が作成された。

令和 6 年 3 月本会議において全会一致で可決され、同年 4 月 1 日に施行された。

②議会でのタブレット活用について

・タブレット端末導入の経過

平成 30 年、他都市のペーパーレス化の気運から、会議資料のペーパーレス化を進めるため、議会運営検討会において議論が進められることになった。

令和元年 11 月、検討会をもとに部会が設置され、タブレットは公費でリースし、私物端末の利用は認めないことや、整備する端末・通信方式・文書共有の専用システム等々の決定がなされ、令和 3 年、2・3 月市議会にお



試行実施（紙資料との併用）し、同年4月から本格実施されている。

③議会中継に関する経過について

- ・ YouTube 放映開始まで

平成3年9月、市庁舎内で決算特別のモニター録画放映を開始。以後、生中継を開始しつつ、平成12年6月には庁舎内すべての特別モニター放映を開始した。

平成15年3月、市議会HP上でインターネット放映開始（録画）。

平成24年5月、開議～散会をインターネット生中継・録画放映を開始。

平成30年2月、YouTube 大阪市議会録画放映チャンネルを開設。

令和5年 YouTube 放映を会議翌日午後1時に早められた。

④ハラスメント防止条例について

- ・ 議員間または議員と職員との間におけるハラスメント防止に関して（目的）

この条例は、議員と議員、または議員と職員が互いに人格を尊重し、議員及び議会としての役割を十分に発揮するため、議員間または議員と職員との間におけるハラスメント防止に関し必要な措置を講じ、市民から信頼される市議会の実現に資することを目的とする。



（2）株式会社ダイヘン本社視察（令和7年7月9日）

①会社概要

設立 1919年12月1日

事業内容 各種電力機器、各種溶接機、産業用ロボット、半導体製造装置用高周波電源、EV充電システム等の製造、販売、修理

事業の基本方針

- ・ 脱炭素社会の実現
- ・ 労働力不足の解消
- ・ デジタル化の推進

②商品開発の歴史

1919年の創立以来、変圧器に始まり溶接機、産業用ロボット、半導体製

造関連機器など、常に最先端の技術で社会のニーズに応えた新しい価値の創造に取り組み、くらしの基盤となる電力インフラの高度化や世界のモノづくりの進化・発展に貢献してきた。

③主な事業分野

○エネルギーマネジメント分野

EnergyManagement

電力会社・一般民需向けの電力機器製品群に加え、再生可能エネルギー

の活用拡大に資する機器・システム等により、電力インフラを支え、脱炭素社会の実現に貢献。

(国内トップシェアの柱上変圧器・再生エネルギー導入拡大太陽光発電・EVの普及促進)

○ファクトリーオートメーション分野

FactoryAutomation

アーク溶接ロボットに加えて、ハンドリングや組み立て・加工等、多様な産業用ロボットや搬送システムにより、世界中の工場における自動化・省力化を実現し、労力不足の解消に貢献。

(ロボットプログラム作成の負担軽減・ロボットを活用した生産自動化・クリーン環境での高精度搬送)

○マテリアルプロセッシング

MaterialProcessing

多様なエネルギー源の高精度な制御技術により、金属や樹脂材料等の接合・切断に加え、デジタル化を背景に需要が拡大する半導体の精密な成膜・表面処理等幅広い加工領域での事業展開を図り、モノづくりの技術革新に人よくなプロセスを提供。

(国内トップシェアのアーク溶接機・異材接合システム・半導体製造装置の省エネ化)

